

2024年1月24日
霧島市
鹿児島県
九州電力株式会社
(公財)九電みらい財団

鹿児島県霧島市において「きりしま九電みらいの森」の整備に取り組みます — 環境教育と市民交流の拠点となる森づくりを実施 —

霧島市（市長：中重真一）、鹿児島県（知事：塩田康一）、九州電力株式会社（執行役員鹿児島支店長：樋口和光）、公益財団法人九電みらい財団（代表理事：辻 慎一）は、本日、鹿児島県霧島市牧園町の霧島市有地において、「九電みらいの森プロジェクト」第二弾として、「きりしま九電みらいの森」を整備する森づくり協定を締結しました。（詳細は別紙参照）

本プロジェクトは、九電みらい財団が、地域と協働で環境教育や市民交流の拠点となる森づくりに取り組み、地域の皆さまと一緒にカーボンニュートラルの実現を目指して、現在「くじゅう九電の森（大分県）」や、本プロジェクト第一弾として整備した「いさはや九電みらいの森（長崎県）」で実施している環境教育や環境保全活動を、九州全域に拡大するものです。

今後、霧島市、九州電力及び九電みらい財団は、本プロジェクトのコンセプトである「人、地域、森を『健幸』にする森づくり」の実現に向けて、鹿児島県の助言の下、次世代層を対象とした環境教育や、周辺施設・地域資源とも連携を図りながら、地域の方々に親しまれる森づくりに取り組んでまいります。

